

# 令和3年度

## 「全国学力・学習状況調査」の結果

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るため、小学6年生と中学3年生（義務教育学校9年生）を対象として、文部科学省が平成19年度より実施しているものです。

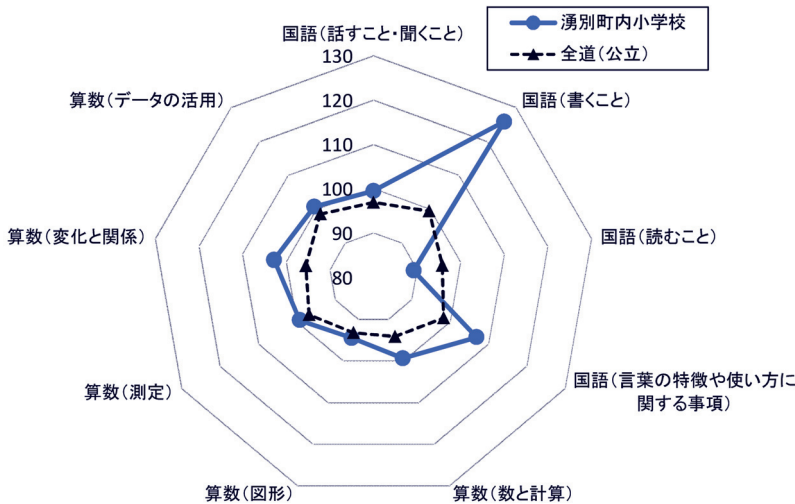
令和3年度は5月27日に国語・算数・数学の2教科で実施されました。調査結果から見た湧別町の子どもの様子について、その概要をお知らせします。

### 湧別町内 小・義務教育学校 の状況および学力向上策（学校数：6校）

小学校では、国語・算数とも全国・全道平均を上回りました。

#### 【教科全体の状況】

教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート（グラフ）で示したものを（湧別町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



#### 【湧別町の学力向上策】

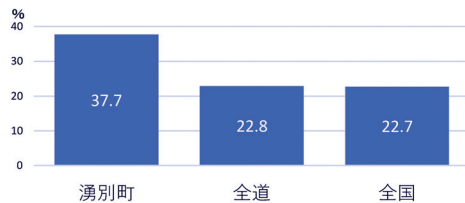
- 湧別町型学校力向上事業に基づく授業公開や研修事業の実施
- 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT端末の効果的な活用
- 学力向上支援員等各種支援員の配置の充実
- 長期休業を活用した高校生ボランティア学習サポートの実施
- 学校図書館支援事業による読書活動の推進



#### 【児童 質問紙調査】

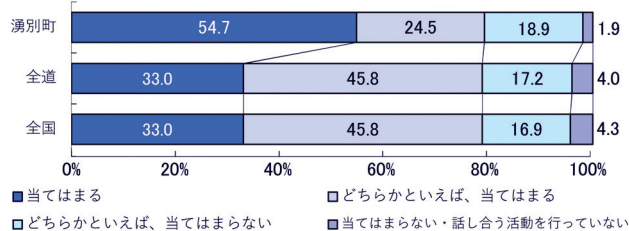
##### 《国語》

国語の勉強が好き



##### 《全般》

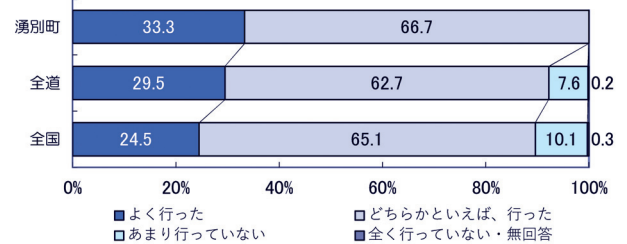
話し合う活動をととして、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



#### 【学校 質問紙調査】

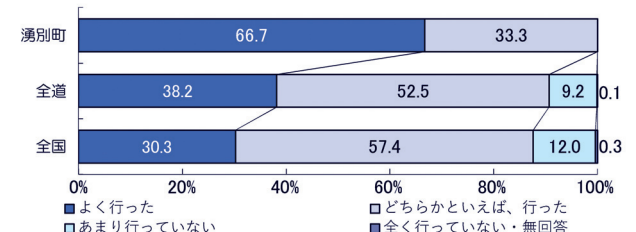
##### 《国語》

目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行った



##### 《全般》

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を取り入れた



#### 【分析】

● 国語の授業において、目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、国語の勉強が好きと回答した児童の割合が、全国・全道の割合を上回るとともに、「書くこと」「言葉の特徴や使い方に關する事項」で全国平均正答率を上回ったと考えられる。

● 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を取り入れたことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が、全国・全道を上回ったと考えられる。

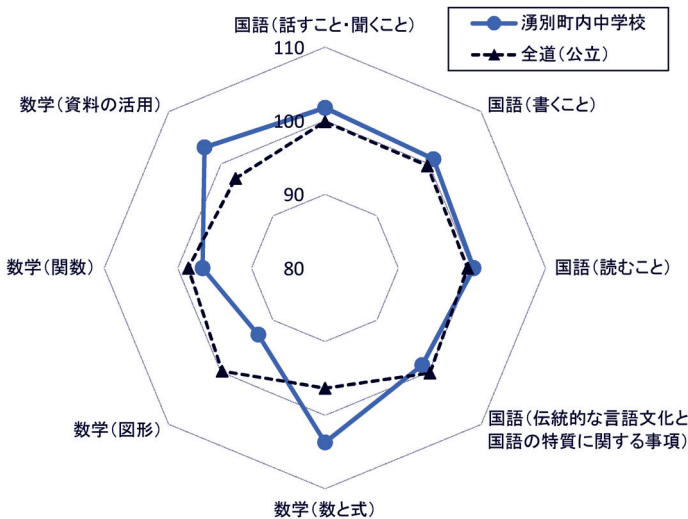


## 湧別町内 中・義務教育学校 の状況および学力向上策（学校数：3校）

中学校では、国語は全国平均を上回り、数学は全国平均と同等の結果でした。また、2教科とも全道平均を上回りました。

### 【教科全体の状況】

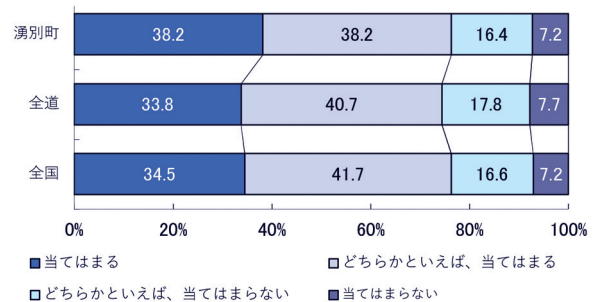
教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート（グラフ）で示したものを（湧別町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



### 【生徒 質問紙調査】

#### 《全般》

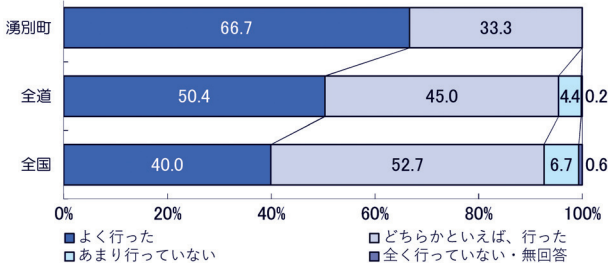
自分には、よいところがあると思う



### 【学校 質問紙調査】

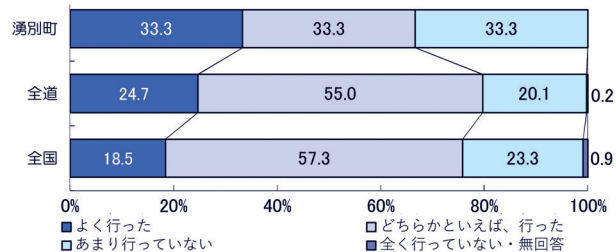
#### 《数学》

補充的な学習の指導を行った



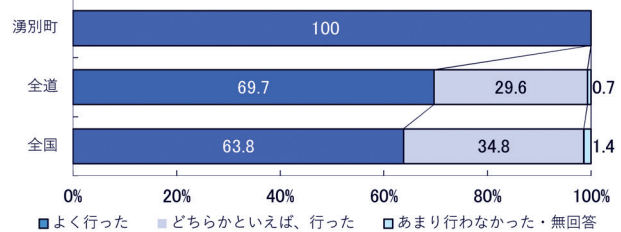
#### 《数学》

発展的な学習の指導を行った



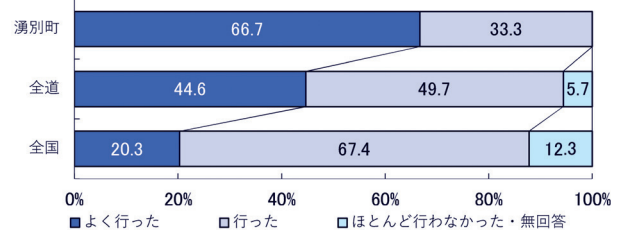
#### 《全般》

学校生活の中で、生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取り組みを行った



#### 《全般》

全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した



### 【分析】

- 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習・発展的な学習を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、「数と式」「資料の活用」で全国平均正答率を上回ったと考えられる。
- 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国平均正答率を上回ったと考えられる。

- 学校生活の中で、生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取り組みを行ったことにより、自分には、よいところがあると回答した生徒の割合が、全道・全国を上回ったと考えられる。